

7月

フルーツミックス

うんどうあそび編

今から、おかりばに行くよ



初めておかりば公園に行き、うんどう遊びに参加しました。ペアの友だちと手をつないで、順番を守ることを約束し出発！！到着すると、ペアで行動する練習。しんや先生の後ろについて2列で歩いたり、走ったり。帰りの時間になると、ペアの友だちを探して手をつなぎ、順番に並んで園まで帰ることができました。

3歳児 みかん組



先生の話を聞くときは、ボールで遊ばずに、三角座りをした足にボールをはさみましょう。



4歳児 ばなな組

一緒にしよう！



♪なべなべそこぬけ～♪

♪おちゃらかほい♪



ばなな組のうんどうあそびでは、友だちと一緒に体を動かす場面が増えてきます。そのような時に「〇〇ちゃんになりたい！」など自分の思いを通そうとする気持ちのぶつかり合いになることがあります。それをふまえた上で、活動内容が変わることに意図的にペアを変更し、気持ちの切り替えを図ります。このように、身体的な向上だけではなく社会性の育ちにもつながるよう配慮しています。

5歳児 ぶどう組



投げる時は、相手の胸に向かって

ドッジボールの練習を頑張っている子どもたち。今は、ワンバウンドのボールは取りに行ってもOK！、ボールを投げる時は、ラインから投げる！の2つのことを意識して取り組んでいます。

室内ではキャッチボールをしています。子どもの手のサイズに合ったボールを使い、しっかり片手でつかんで、投げることで自然とフォームが身についていき、友だちがとりやすいところに投げるなど、相手のことを考える力（協調性）の育ちにもつながります。

受ける時は、両手で受ける。



生き物コーナー

幼虫



あおむし



さなぎ



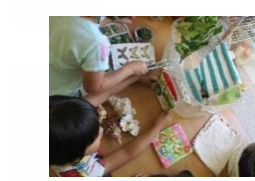
アゲハ蝶



どれかなあ？

グリーンテラスで見つけたアゲハの幼虫を、子どもたちが見やすいように、飼育ケースに入れました。するとさっそく「これがあおむしになって、さなぎになるんやな」と成長過程を子ども同士で教え合っていました。

小さな生き物に触れることで、生態に興味を持ち「これはどんな蝶々になるんやろ？」と疑問が生まれ、図鑑で調べる姿も見られました。24日（月）孵化した蝶々を子どもたちが見つけ大喜びして保育者に教えてくれました。こうした感動体験が、“命を大切にす心の土台”となっています。



あおむしの絵を
かいてみよう

